

これが 公民館報

第334号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,912	世帯
人口	4,230	人
男	2,048	人
女	2,182	人

(令和3年5月1日現在)

四賀がモデル地区に選定 自治機能をより高めて 住みよい地域を目指します



四賀地区地域づくりセンター長 神谷 孝

この4月から四賀地区地域づくりセンター長(四賀支所長)としてお世話になることになりました神谷 孝です。どうぞよろしくお願いいたします。

松本市では今年度行政改革の取組みに伴う組織改編の中で、住民自治局を新設しました。これにより地域づくりセンターは地域づくり部から住民自治局へと移管されました。

このことで、市民に身近な行政サービスの向上、各地域ができるだけ自らの権限で地域課題の解決に向けて取り組んでいくことができる仕組みの強化、さらに、市民に寄り添った支援や内外の多文化共生及びジェンダー平等などを促進、充実させるための組織となりました。

また、地域づくりを一体的に推進する組織体制を整える

ため、健康福祉部福祉計画課の地区福祉ひろば職員を地域づくりセンターの職員とします。そして、地区公民館の館長は教育の独立性を担保した上で、地域づくりセンターの職員として位置付けられました。

そうした中、35地区の地域づくりセンターのうち4地区の地域づくりセンターが、要員体制等を強化し、自治機能を高めたモデル地区に位置付けられ、そのひとつが四賀地区地域づくりセンターとなりました。

これにより、地域主体で、住民とともに地域課題に対する取組みを進めていきながら、四賀地区が、今まで以上に、安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築できるものと考えています。

四賀地区では、公民館活動をはじめとする様々なイベントや地域活動が活発に行われております。今後、こうした住民主体の地域づくりの果たす役割が益々重要となりますので、今まで以上に皆様のお力添えをお願いいたします。

微力ではありますが、四賀地区の地域づくりのために全力を尽くす所存でありますので、皆様方のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

退任のあいさつ



前四賀地区地域づくりセンター長 胡桃澤 伸一

四賀地区のセンター長として3年間に亘り大変お世話になりました。平成から令和へと様々な出来事がありました。過ぎてしまえば早いもので、皆様と取り組んで参りました地域づくりが素晴らしい経験となり、とても幸せな時間を過ごすことが出来ました。心より感謝申し上げます。

地域づくりは人と人との関係づくりを大切に、未来志向で共に協力し合ってこそ力が生まれます。これからもより一層住みよい地域にしていきたいと思いますようお願い申し上げます。

子どもも大人も楽しめる

春の大結ぶ市 開催

地域の人たちと春を迎える喜びを分かち合おうと、「四賀結ぶ市」主催で4月17日(土)に四賀支所で「春の大結ぶ市」が開催されました。地区内外

で活動する作家のクラフト作品やイラストなどが出品され、子ども連れの若い家族などが大勢訪れ、品定めをしたり、情報交換をして談笑する姿があちこちで見られました。会場の外にはフードコーナーが設けられ、カレーやサンドイッチ、コーヒーなども販売されました。



作家との会話も市の楽しみのひとつ

当日はピナスホールで、地区在住の小学校教諭・瀧澤輝佳さんによる「のぞいてみよう外国の学校」と題した講演会も「四賀新しい学びの会」主催で行われ、瀧澤さんが2019年に教育先進国フィンランドの公立小学校で職場体験をした経験をもとに、ゆとりある現地の学校生活の様子をたくさんの方の写真を交えながら紹介しました。



会場内には子どもの遊び場も設けられ、子育て世代を中心に約80名が日本の学校生活との違いなどの話に耳を傾けた

令和3年度 2021年度 町会長・町内公民館長・体育部長名簿

Table with 4 columns: 町会名, 町会長, 公民館長, 体育部長. Lists names for various town associations and their respective leaders.

四賀公民館委員

公民館事業の企画立案・運営をしていただく、四賀公民館委員の皆さんを紹介いたします。

- ◆運営委員会: 瀧澤総一郎, 原田弘, 佐々木清夫, 市川明仁, 小沢幸子, 児玉りえ, 瀧澤長子, 沼田亨, 常田兼弘

職員紹介

四賀地区地域づくりセンター センター長 神谷孝

- 課長補佐: 増田香, 小川聡, 佐藤和彦, 横山栄子, 川崎裕子, 海野寿子, 市川洋子, 生活支援員: 市川洋子, 健康づくり課: 渡辺純唯, 農政課: 長岩政雄, 課長補佐: 齋藤真一, 維持課管理担当: 柏原秀昭, 小林隆彦

職員

院長 家田正寿

- 事務長: 望月太郎, 本木昇, 原田正子, 久保田竜也, 赤羽泰子, 倉科瑞恵, 桐山貴之, 竹内ヨミ子, 宮下一枝, 関利明, 高橋久美子, 青山恭子, 高木佳代子, 藤松止之, 小宮山秀樹, 藤原明日花

バラ公園が 6月に開園



こいのぼりが 元気に 泳ぎました



湧き水

公民館報のタイトル横には毎回四賀地区の世帯数や人口が掲載されます。毎回少しづつ減っていくのが当たり前のようになってしまいました。5年前四賀に戻ってきた私は少しかり数字を増やしたはずですが、大きな減少の流れにかき消されてしまったかも知れません。この数字がまるでロウソクの残りの長さのように見えて寂しく感じる人は多いと思います。人口や世帯数がその地域の規模だけでなく、元気さや豊かさまで示すイメージが拭えないからでしょう。しかし新型コロナウイルス感染にあえぐ人口密集地域の苦しみをみるまでもなく、このモノサシは地域の本当の価値を表すことはできなくなっているのではないのでしょうか。最近出てきた言葉で「関係人口」というものがあります。移住までいかなくとも、その地域に関心や愛着を持って繋がる人の数を示す新しい概念で「地域の魅力や住む人の幸せ度」を示すモノサシになるかも知れません。四賀地区は大きな伸び代を持っている気がします。